

2013年10月18日

日本工学院八王子専門学校

建築設計科1年 勝見亮介

今回、被災地に贈る「小さな建築・空間」の提案および制作を、設計製図の授業の課題として取り組みました。この作品は、「仮設住宅地の通路部分に、住人たちが集まることができるような、屋根のかかった座るスペースが欲しい」という要望に対して計画した東屋です。

屋外に設置することを考えると、ベンチを支える骨組みはベニヤ合板では耐久性にも不安があり、先生の紹介で、白樺合板を使ってつくることにしました。本当は骨組み全てを白樺合板にできればよかったのですが、予算の関係で大判の合板1枚で、主要な部材だけは、白樺合板を使用することにしました。

作業は、以下の手順で行いました。

1. 型取り、切り出し

- ・ 白樺合板一枚につき、部品7枚切り出すことができました。 (図1参照)
- ・ 部材の型取り作業。 (写真2参照)
- ・ 白樺合板切り出し作業。 (写真3参照)

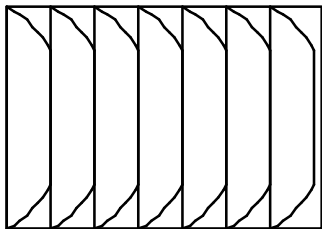


図1 白樺合板



写真2 部材の型取り作業



写真3 切り出し作業

2. 仮組み

- ・ キズナボードを白樺合板で挟み込む作業。 (写真4参照)
- ・ 各部材の仮組み。 (写真5参照)



図4 挟み込み作業



図5 仮組み

今回は無理なお願いにご協力頂き、ありがとうございました。学園祭にも来ていただいて、本当に嬉しかったです。被災地に設置した時にはまた写真をお送りしますので、楽しみにしててください。

以上